

2013年9月27日

(報道発表資料)

NTT コミュニケーションズ株式会社
EMC ジャパン株式会社

NTT コミュニケーションズと EMC ジャパンがクラウドサービスとサポートを強化する Velocity サービス プロバイダー プログラム契約を締結

NTT コミュニケーションズ株式会社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：有馬彰、以下：NTT Com) は、EMC ジャパン株式会社 (本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山野 修、以下 EMC)と、両社のクラウドサービス強化を目的に、「EMC Velocity (ヴェロシティ)サービス プロバイダー プログラム^{*1}」契約を締結しました。

2013年10月9日から開催される「EMC Forum 2013」へ、NTT Com はパートナーとして参加するとともに、両社共同でグローバルにクラウドサービスの販売を開始します。

今後、NTT Com のクラウドサービスにおいて、EMC が保有するストレージ技術およびデータマネジメントノウハウを積極的に活用することで、基幹系データベース向け超高速ストレージやビッグデータ向け大容量ストレージなど、クラウドサービスのラインアップを大幅に強化し、両社のお客さまの迅速なクラウド環境への移行を推進します。

1. 主な取り組み内容

(1)超高速・高信頼ストレージメニューにより基幹系システムでも安心して利用可能なクラウド環境を実現

NTT Com は、EMC のストレージソリューションを採用した「Biz ホスティング Enterprise Cloud」および「Biz ホスティング Cloud[®]」を提供しています。今後、さらに EMC の持つ様々なストレージ技術を採用することで、性能や品質を強化するとともに高性能の超高速ストレージサービスなどを提供していきます。

お客さまは、さまざまな性能のストレージサービスから用途にあったメニューを選択することで、開発環境や基幹系システムとしてはもちろん、クラウド上におけるビッグデータ解析まで幅広い用途において、安心安全なクラウド環境をグローバルに利用することができます。

(2) EMC のコンサルティングサービスを活用したストレージのクラウド化支援

EMC が提供するプライベート・クラウド/仮想化コンサルティングのノウハウや NTT Com のクラウド移行を支援するオンプレミス接続サービスなどを活用することで、お客さまデータのオンプレミスからクラウドへのスムーズな移行を支援します。

お客さまは、ストレージパフォーマンスの最適化、ハイブリッドクラウド環境におけるデータ配置の最適化などが可能となり、よりパフォーマンスの高い ICT 環境を構築することができます。

(3) 共同でのマーケティング・営業活動による新規市場の開拓

NTT Com と EMC による共同マーケティングや営業活動を通じ、金融機関や政府機関のシステム、また企業の経営情報、マーケティング情報を扱うシステムなどデータマネジメントが重視される基盤システムのクラウド化を積極的に提案し、ビッグデータ分野の利用拡大を進めていきます。また、2013年10月9日～11日開催の「EMC Forum 2013」において、NTT Com はゴールドスポンサーとして参加し、両社の取り組みを紹介します。

2. 今後のサービス展開

NTT Com と EMC は Velocity サービス プロバイダー プログラム契約を、日本を皮切りに APAC (アジア太平洋地域)へ拡大し、グローバル企業におけるグローバルなクラウドサービス活用を積極的に支援していきます。

*1) EMC Velocity サービス・プロバイダー・プログラム: EMC のサービス・プロバイダー・パートナーによるパブリッククラウドサービスおよびプライベート・クラウド・サービスの開発、導入、市場展開、販売、提供を支援するプログラム。